

11月10日の基準価額の下落について

2016年11月10日

当社公募投信のうち、以下のファンドの基準価額が5%以上下落していますので、お知らせいたします。

※ブル・ベア型投信、ETF(上場投資信託)を除く。

	回次コード	11月10日 下落率5%以上のファンド	基準価額	前日比	前日比騰落率
海外株式	5680	メキシコ株ファンド	7,911 円	-673 円	-7.8%
海外債券	3147	メキシコ・ボンド・オープン(毎月決算型)	4,115 円	-265 円	-6.1%
国内株式	5766	ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)ージャパン・トリプルリターンズー 豪ドル・コース(毎月分配型)	6,882 円	-378 円	-5.2%
	5767	ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)ージャパン・トリプルリターンズー ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)	5,383 円	-328 円	-5.7%
	5769	ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)ージャパン・トリプルリターンズー 通貨セレクト・コース(毎月分配型)	4,907 円	-322 円	-6.2%

※当日の収益分配金(税引前)支払い前の価額を用いて前日比騰落率を算出しています。

次頁に各市場の動向についてのコメントを掲載しています。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

◆以下に、基準価額の変動要因となった主な市場環境について掲載します。

【基準価額下落の要因】

<日本株式市場>

11月9日の日本株式市場は、TOPIX(東証株価指数)で▲4.6%、日経平均株価で▲5.4%の下落となりました。米国大統領選挙におけるトランプ氏勝利の可能性が高まるにつれて、急速にリスク回避の動きが強まりました。トランプ氏が日本や中国の対米貿易黒字を問題視していることもあり、為替市場において円高となったことも日本株にはマイナス要因となりました。

今後の日本株式市場は、短期的には円高やトランプ氏の政策に関する不透明感への懸念から、調整が先行する可能性があります。新政権の陣容や具体的政策が徐々に明らかになることで、日本株にはプラス・マイナス両面の影響が出てくると考えますが、それでも全体的には不透明感が後退すること自体がプラスの効果を及ぼすとみています。国内の市場環境に目を転じると、景気は緩やかながらも回復基調にあり、企業業績も今年度上半期での底入れが確認されつつあります。したがって、米国の政治面での不透明感が後退するにつれて、株価はファンダメンタルズの改善を反映する形で、回復基調をたどっていくと予想しています。

<メキシコ金融市場>

現地11月9日のメキシコ株式市場は、ボルサ指数で前日比▲2.2%の下落となりました。また、メキシコ債券市場は10年国債利回りが前日比で0.42%ポイント上昇しました。

現地11月8日に実施された米国大統領選挙において、事前の予想に反して共和党のトランプ氏が勝利しました。メキシコはNAFTA(北米自由貿易協定)を通じて米国と密接な貿易関係にありますが、トランプ氏はNAFTAの見直しや撤廃を政策として掲げてきたため、同氏の勝利によりメキシコ経済の行方への不安感が強まり、メキシコの株式・債券市場は軟調な展開となりました。

為替市場においては、トランプ氏の勝利を受けてメキシコ・ペソが大きく売られ、円に対して▲4.8%の下落となりました。

トランプ氏の勝利により、メキシコの株式・債券市場やメキシコ・ペソの先行きに悲観的な見方が強まっています。しかし、NAFTAの見直しなど同氏の公約の実現性には疑問符が付くものが多いほか、その他の具体的な政策パッケージは現時点ではほとんど明らかにされていません。短期的には調整局面が続く可能性があります。今後徐々に具体的で実現性のある政策案が明らかになるにつれて政策の不透明感が薄まり、過度に悲観的な見方が修正され、株式・債券市場や通貨は回復基調に転じるものとみています。

【主要指標の動き】

市場指数

	直近値	騰落率
	11月9日	11月8日比
TOPIX	1,301.16	▲4.6%
日経平均株価	16,251.54	▲5.4%
メキシコ・ボルサ指数	47,390.66	▲2.2%

為替(対円)

	直近値	騰落率
	11月10日	11月9日比
メキシコ・ペソ	5.33	▲4.8%

※上記の為替騰落率は、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を採用し、算出しています。

(出所)ブルームバーグのデータを基に大和投資信託作成

以上

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客さまが実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。ファンドにかかる費用の項目や料率等は販売会社や個々のファンドによって異なるため、費用の料率は大和投資信託が運用する一般的なファンドのうち、徴収するそれぞれの費用における最高料率を表示しております。また、特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので必ずご覧いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

ファンドの費用について

ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。

投資者が直接的に負担する費用		投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
購入時手数料	料率の上限は、 3.24%(税込) です。	運用管理費用 (信託報酬)	費用の料率の上限は、 年2.1816%(税込) です。
換金手数料	料率の上限は、 1.296%(税込) です。	その他の費用・ 手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 (その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。)
信託財産留保額	料率の上限は、 0.5% です。		

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
 ※ファンドにより異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。
 ※くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスクについて

ファンドは値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。また、新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。リスクの要因については、ファンドが投資する有価証券等により異なりますので、お申し込みにあたっては、ファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会